

少年男子ハンドボール決勝 沖縄—山口 後半、サイドから狙い澄ましたシュートを決める平仲航=10日、岩手県の花巻市総合体育館 (諸見里真利撮影撮影)



# 興南少年男子ハンド準V

## ハンドボール

▽少年男子決勝  
花巻市総合体育館  
山口 32 1814 16 25 沖縄  
興南 9 25 (興南高)

【評】渡慶次洗也のステップシュートで先制した沖繩は、平仲航と垣花涼の個人技やポスト寺島健太との連携プレーがかみ合い、堅い山口の守備を破る。後半、山口は興南の戦術をつぶす守備に切り替え、高い位置で重圧をかけた。攻撃の幅を詰まらされた興南はミスから逆速攻を受け、徐々に引き離されて惜敗した。

全力を尽くした黒島宣昭監督の話 今の3年生は中学校時代からの沖繩選抜メンバーで、仲の良いチーム。春の選抜と夏の総体で勝ち上がれなかっただけに、この国体に懸ける思いがとて強かった。決勝戦まで進めたのは、彼らの思いがあったからだ。そこでしっかりと全力を尽くした。3年間、厳しい練習にもよく付いてきてくれた。

# 有終の美、あと一歩

春の選抜と夏の総体で優勝に届かなかった興南。国体で有終の美を目指したが、年内3冠を狙う山口選抜の厚い壁の前に、一歩及ばなかった。だが、仲間と共に過ごした3年間の全てを出し切った。平仲航主将は「出場できなかった仲間と一丸になった結果。負けただけ、すっきりしている」と仲間感謝した。

試合は、渡慶次洗也のミドルシュートで先制すると、垣花涼のロングシュートや平仲航と寺島健太のポストプレーという興南の得意な攻撃で、山口の守備を崩す。粘り強い守備からGK島袋貴弘の好セーブにつ

## ドッカールーム

なご、素早い速攻で前半は16-14でリードしていた。後半、山口が底力を見せる。興南のフロアター3人に高い位置で重圧をかける。パスを受ける選手にも素早く迫り、ミスを誘って速攻を連続。興南は主導権を奪い返せなかった。試合終了後、黒島宣昭監督は涙をこらえる選手らをたたえ、「よくやった。最後は弁する言葉だった。興南高校ハンド部3年生22人の思いを代

# 後半、主導権奪い返せず

(嘉陽拓也)